

1

【出題の意図】細胞・組織・器官に関する知識を問う。

【解答例】粗面小胞体で合成された蛋白質に脂質，糖を加え，リポ蛋白，糖蛋白の合成・分泌を行う。作り出した糖蛋白は，顆粒状にして細胞質に送り出す。付加された糖の種類によって，細胞質にとどまったり，細胞膜に向けて放出されたりする。すなわち，付加される糖は，その蛋白質の配達先を記した荷札のような役割を果たす。ゴルジ体は，細胞内で作り出された物質を選別して包装し，荷札をつけて必要な場所に送り出す配送センターに相当する。

【採点基準】上記下線部は必ず含まれること。

2

【出題の意図】薬理（薬物相互作用）についての知識を問う。

【正答】①ビタミン K ②グレープフルーツ（グレープフルーツジュース） ③血圧低下，起立性低血圧，失神 ④牛乳などの乳製品，アルミニウム，カルシウム，マグネシウム，鉄 ⑤チーズ，ニシン，たらこ，ビール，ワイン

3

【出題の意図】胃がん患者の胃全摘出術後のアセスメントと退院指導についての知識を問う。

問1 【正答】ダンピング症候群

問2

【解答例】ダンピング症候群を起こさないために，食事の一回量と食事摂取時間を確認する。

【採点基準】ダンピング症候群を起こさないために，空腸に食物を急激または大量に送り込まないことの内容が含まれていること。

問3

【解答例】・ダンピング症候群を起こさないために，食事の一回量を減らすとともに食事回数を増やし，分割して食事を摂ることを勧める。

- ・胃切除により消化吸収が低下し，下痢を起こしやすい状況になっている。
- ・胃切除により，胃から分泌される内因子が分泌されなくなるため，ビタミン B₁₂ の吸収障害が起きる。
- ・食後 2～3 時間後の発汗は後期ダンピング症候群による低血糖症状であり，糖分の補給が必要となる。
- ・職場復帰の時期や間食時間を取れるかを確認し，具体策を考えていく。

【採点基準】胃切除により胃の働きが低下すること、ダンピング症候群、職場復帰をふまえて解答すること

4

【出題の意図】体格指数（BMI）・成人保健指導についての知識を問う。

【正答】

問1 $80\text{kg} \div (1.70\text{m})^2$

$80\text{kg} \div (1.7\text{m} \times 1.7\text{m})$

BさんのBMI = $80 \div (1.7 \times 1.7) = 27.68 = 27.7 \text{ kg/m}^2$

【解答例】

問2 BMI が 27.7kg/m^2 であり I 度肥満である。

収縮期血圧が 132mmHg であり正常高値である。

LDL-コレステロール 180mg/dl 、中性脂肪 150mg/dl は高値である。

HbA1c 5.9 は正常範囲であるが高値である。など

これらのことは生活習慣病発症のリスクとなることから、禁煙指導と併せて食生活や運動などの状況を把握したうえで、運動や食生活の改善などが必要とされている。

5

【出題の意図】高齢者の人口・世帯についての知識を問う。

【正答】

①	②	③	④	⑤
65	7	14	21	超高齢

6

【出題の意図】脳卒中(回復期～生活期)、在宅移行期の看護、介護保険サービスについての知識を問う。

【正答】

問1 居宅サービスを4つ挙げている事

- ・訪問看護 ・訪問リハビリテーション ・訪問介護 ・通所リハビリテーション
- ・居宅介護住宅改修費(住宅改修) ・居宅介護福祉用具購入費 など

【解答例】

問2

①関わり方の姿勢

- ・Cさんが自宅退院についてどのような点を心配しているのか、傾聴する。
- ・妻は自宅介護に対する不安がないか、傾聴する。
- ・心配なことが具体的になったら、一つ一つ解決できるように共に考え、課題や目標を共有する。

②薬物療法に伴う注意

- ・高血圧や糖尿病など基礎疾患がある場合、治療の継続が重要であることを説明する。
- ・内服量を勝手に増減したり、自己中断してはいけないことを説明する。
- ・抗凝固薬を内服している場合は、納豆などビタミンKを多量に含む食品の摂取を控えるように説明する(薬の効果が低下して血液の凝固性が高まる)。
- ・抗凝固薬や抗血小板薬を内服している場合、歯科受診で抜歯などの処置を要する際には、必ず主治医に相談するように説明する。
- ・抗凝固薬を内服している場合、転倒などによる頭部の打撲を含め、外傷を避けるよう環境整備を徹底し(廊下や浴室の手すり設置など)、日常生活を安全に過ごすように注意を促す。
- ・高血圧の治療でカルシウム拮抗薬を内服している場合は、グレープフルーツジュースの摂取を控えるように説明する(薬の血中濃度が上昇し作用が強くなり現れる危険がある)。

③介護上の留意点

- ・妻に入浴時の見守るポイントを指導する。
- ・食事摂取時にむせないよう、食事形態や食事時の姿勢について説明する。
- ・夫の自立を促すサポートが重要であることを説明する。
- ・夫の日常生活行動がリハビリとなっていることを改めて説明する。
- ・活用できる社会資源を紹介し、レスパイトケア(妻自身の時間の確保)の必要性を説明する。
- ・相談窓口や患者/家族会の存在を紹介する。

7

【出題の意図】治療抵抗性の統合失調症の医療・看護についての知識を問う。

問1

【正答】医療保護入院

問2

【解答例】Dさんの疑問や不安に思っていること、薬に対する理解度を確認し、作用や副作用についてパンフレットなどを用いてわかりやすい説明を行う。

【採点基準】成績が下位であったこと、服薬が不規則であったことから、服薬に関する教育的な関わりをわかりやすく行うことが含まれていること。

問3

【解答例】無顆粒球症などの命にかかわる重大な副作用があるため、入院を続けて血液検査などを行う必要があることを説明する。

医師からも説明があったようにクロザピンの服薬開始から原則18週間は入院が必要であることを説明する。

【採点基準】重大な副作用があるため、原則入院して治療・検査が必要であることが含まれていること。

8

【出題の意図】母性看護学についての知識を問う。

【解答例】

1) リプロダクティブヘルス (Reproductive health)

単に生殖の過程に病気や異常が存在しないだけでなく、生殖過程が身体的、精神のおよび社会的に完全に良好な状態 well-being で遂行されること。

2) マタニティブルー (Maternity blue)

出産の疲れや、慣れない育児による疲れや睡眠不足、育児に対するプレッシャーや孤独感、ホルモンの変化により、産後 10 日頃までに生じる抑うつ気分や涙もろさなどを症状とする一過性の精神的変化。

3) カンガルーケア (Kangaroo care)

母子関係を促すため、出生後の新生児を腹臥位にし、母親の胸で皮膚と皮膚が触れ合うように抱き過ぎること。

【採点基準】上記下線部の内容が含まれていること

9

【出題の意図】小児の成長発達（呼吸機能の発達）についての知識を問う。

【正答】①エ ②ア ③タ ④コ ⑤⑥シまたはイ ⑦シ ⑧セ ⑨ソ ⑩ス